

研修で使用する器材等

集材機研修におけるワイヤロープ加工実習・支柱作設実習に使用する器材等については、表-1、表-2のとおりで、基本的には、日本森林技術協会（以下「当協会」という。）が所有しているものを搬送して使用します。

しかし、一部の器材等については、搬送に難があることから、県等から借用して使用します。具体的には以下のとおりです。

1. ワイヤロープ加工実習で使用する器材等

- ・ ワイヤロープ加工実習では、アイスプライス（受講生個別作業）及びセミロングスプライス（班での合同作業）の加工を行います。
- ・ 加工するワイヤロープは、受講生の人数に応じた必要量を当協会が購入して送付します。
- ・ ワイヤロープ加工等で使用する革手袋やスパイキ（シノ）については、講師や受講生に持参してもらうようお願いします。なお、スパイキ（シノ）については当協会でも準備します。
- ・ 作業台は、県等から借用して使用します。

（表-1） ワイヤロープ加工実習で使用する器材等

《受講生 5 名・講師 1 名の場合）》

	使用器材	用途	数量等
1	作業台（角材又は短コロ）	ハンマーでの整形作業に使用	1 個
2	スパイキ（シノ）	ワイヤロープ加工作業用	個人持参
3	革手袋	ワイヤロープ加工作業用	個人持参
4	ワイヤロープ（メッキ加工） 6×24 10mm 4.0m	アイスプライス用	6本
5	ワイヤロープ（メッキ加工） 6×24 10mm 8.0m	セミロングスプライス用	2 本
6	ハンマー	編み込んだ部分の整形作業に使用	1個
7	ワイヤロープカッター（小）	ストランドの切断に使用	1個
8	ワイヤロープカッター（大）	ワイヤロープの切断に使用	1個
9	コンベックス	セミロングスプライス加工における細工代の計測用	1個
10	ビニールテープ マジック又はチョーク	セミロングスプライス加工におけるストランドの組み合わせ箇所を目印等	1個
11	ハンドソープ	ワイヤロープによる油汚れ除去用	1個

※革手袋やスパイキ（シノ）は、講師や受講生が普段使用しているものを使用します。
※加工実習での油汚れを少なくするために、メッキ加工のワイヤロープを使用します。

2. 支柱作設実習で使用する器材等

- 支柱作設実習では、当て木の取り付け、サドルブロックやガイドブロックの取り付け、ガイラインの取り付け作業の実習を行います。なお、はしごで登れる範囲での高所作業を予定しています。
- はしご、サドルブロック、ガイドブロックについては、県等から借用して使用しますので、準備できない場合には事前に当協会にご連絡ください。
- ヘルメット、ナタ、作業用手袋については、講師や受講生に持参してもらうようお願いいたします。

(表-2) 支柱作設実習で使用する器材等

《受講生 5 名・講師 1 名の場合》

	使用器材	用途等	数量等
1	荷引き上げ用滑車	サドルブロック等の引き上げ用	1個
2	ナイロンロープ	サドルブロック等の引き上げ用	1本
3	ベルトスリング	荷引き上げ用滑車取り付け用	1本
4	当て木	立木の保護用	5本分
5	ゴムチューブ (バンド)	当て木取り付け用	5本
6	はしご (固定用ロープ付き)	支柱作設作業用	1個
7	安全帯・足場等	高所作業用	1個 ^{※1}
8	サドルブロック	主索を16mmに想定した大きさ	1個
9	台付けロープ (16mm)	サドルブロック取り付け用	1本
10	ガイドブロック	7インチ程度	1個
11	台付けロープ (12mm)	ガイドブロック取り付け用	1本
12	番線 (なまし鉄線)	台付けロープの弛み防止等	1束
13	ペンチ	番線切断用	1個
14	ガイライン (片側アイ加工)	6×19 径12mm 長さ25m	2本
15	シャックル (捻込19mmドブ)	ガイライン取り付け用	2個
16	クリップ (12mm用)	ガイライン固定用	12個 ^{※2}
17	ラチェットレンチ (シノ付)	クリップ固定用、番線締め付け用	1個
18	トルクレンチ	クリップの締め付けトルクを確認	1個
19	張線器 (シメラー)	ガイラインの緊張用	1個
20	カムラー、フック等	張線器と併せて使用	必要数
21	ホワイトボード	講師からの指導用	1式
22	担架・救急薬品	救護用	1式
23	軍手、革手袋、ナタ、ノコギリ、ヘルメット等		個人持参

※1 高所作業を行う人数に応じて確保

※2 予備用を含む